

「千葉県国土利用計画(第4次)」 — 持続可能な千葉県づくりのための県土のグランドデザイン —

資料 1

I. 基本的な考え方 人口減少・高齢化、国際化の進展、土地利用の諸課題等に対応した新たな県土利用に関する基本構想

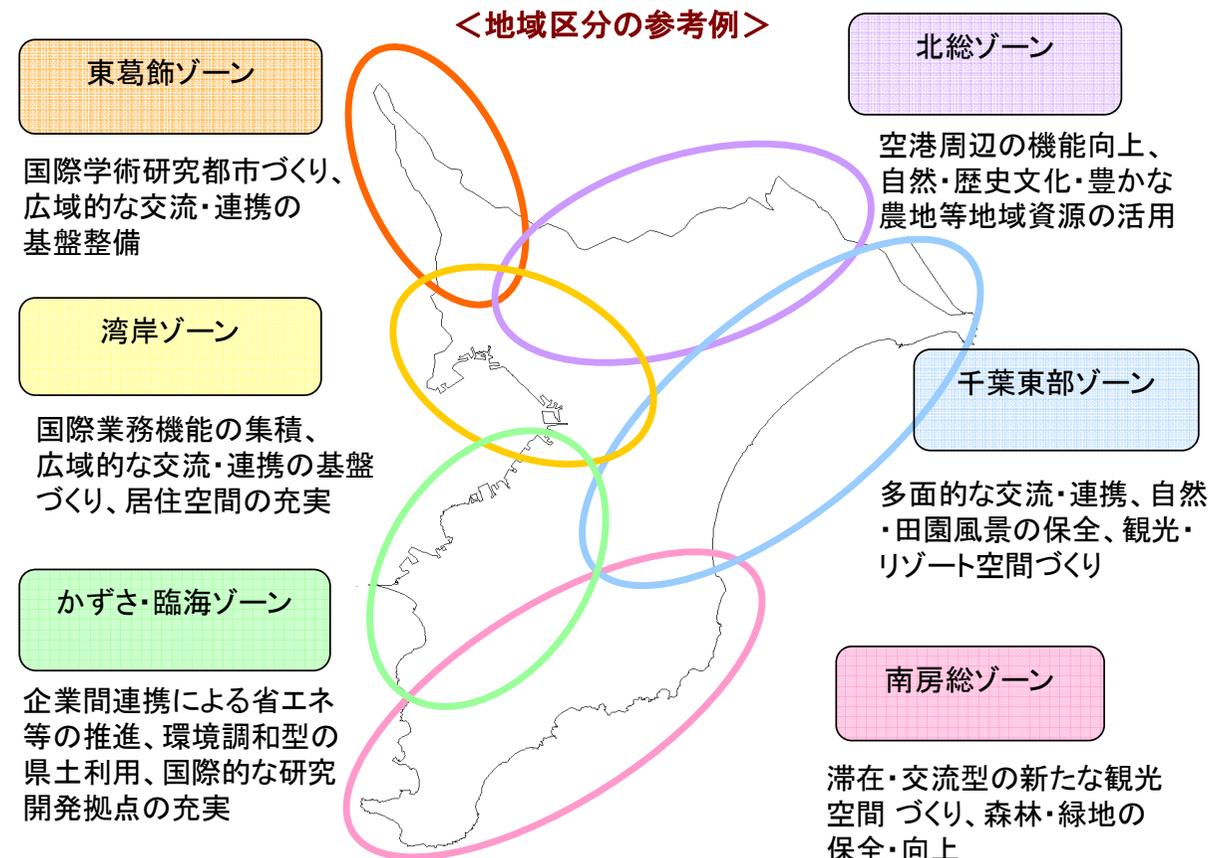
1. 多様な主体との連携・協働による県土利用 → 県民の主体的な参画による地域づくり、幅広い主体との信頼関係の構築・結集
2. 環境への負荷が少ない循環型社会の構築 → 物質循環を担う森林・農地等の保全・有効利用、廃棄物の発生抑制・適正処理の推進
3. 安全で安心できる暮らしの確保 → 地震・津波、集中豪雨等の災害に強い県土形成、海岸線の侵食の対応、土壌・水質の安全の確保
4. 良好な景観の形成、人と自然との共生 → 豊かな自然や田園風景、歴史的景観等の保全、生態系・生物多様性の保全の強化
5. 多様性・魅力を生かした活力の創出 → 地域の自然・文化・歴史・産業資源等、本県の個性・特色を生かした地域づくり
6. 世界に開かれた県土利用 → 成田、東葛、かずさ、千葉・幕張地域等の国際拠点の形成、海外との交流の促進

※ 目標年次:平成29年(2017年) → モニタリング制度・計画評価制度の導入による定期的な進捗管理と計画の見直しの実施

II. 県土利用の基本方針・基本方向の提示

1. 県及び地域の個性・特色、独自性の反映
経済社会状況の変化、土地利用の動向を踏まえるとともに、県土利用に係る地域の諸課題への対応を図る。
2. 土地利用区分横断的な視点の重視
自然的土地利用(農地・森林)、都市的土地利用(宅地等)、環境、景観の視点を重視する。
3. 計画実現のための施策・推進体制
基本方針・基本方向の実現に向けた諸施策・推進体制を検討する。
4. 県民参加による策定
積極的な情報公開を行うとともに、タウンミーティングの開催等により、広く県民の考えや意見を取り入れる。

III. 各地域の特性・課題の整理、目指す方向性の提示



※ 地域区分(ゾーン)の設定・方向性は、県民意見、市町村・議会との調整等を踏まえる